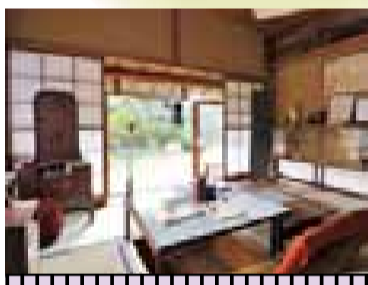




水木洋子
生誕100年



四季を彩る 水木洋子が愛した家



公開：第2・4土・日曜日
午前10時～午後4時
※12月は第2週目、1月は第4週目のみ
☎320-3354文学プラザ

今年、市川ゆかりの脚本家、水木洋子の生誕100年にあたり、さまざまなイベントが行われました。1910(明治43)年、東京の京橋に生まれた水木は、戦後、父親の知り合いを頼り八幡に移ってきました。「浮雲」などの代表作は、すべてこの家で執筆されたものです。

「今では庭の樹木、果実、花、みんな別れ難い存在になってしまった」と随筆にも書いた梨の棚がある庭は、8畳の書斎からも見渡すことができました。生け垣に囲まれた約250坪の敷地に30坪の平屋。原稿用紙に向かっ根をつめた日にも、ふと顔を上げると、四季を彩る折々の風景がひととき心を休めてくれたことでしょう。

主な後の水木邸は、市に寄贈され、公開時には市民サポーターの皆さんが邸内を案内しています。昭和の暮らしが残る貴重な建物に、水木洋子の面影を探してみませんか。

広報
ICHIKAWA PUBLIC INFORMATION

いちかわ

12月4日
2010年(平成22年)
毎月第1～第4土曜日発行
No.1405

発行:市川市
編集:企画部広報広聴担当
〒272-8501
市川市八幡1-1-1
TEL 047-334-1111
FAX 047-336-2300
ホームページ
<http://www.city.ichikawa.lg.jp/>

市川市の人口
(11月1日現在)
475,414人
(前月比-137人)
男242,975人 女232,439人
219,330世帯
(前月比-214)

今週号の紙面から

特集 **いちかわを愛した脚本家 水木洋子**

- 初日の出はアイ・リンクタウン展望施設で……2面(観光・募集)
- 児童・生徒の思いが築く 私たちのまちいちかわ 啓発作品各賞を表彰……6面(教育・お知らせ)



市川市長 大久保 博

市民目線を改めて認識することができましたことから、来年度以降も手法等を検討して継続していきたいと思っております。

事業仕分けの答申 市民目線の行政に反映



市川市で初めてとなる事業仕分けが10月23日と24日の2日間に行われました。この事業仕分けは、行財政改革の観点から政策や施策を審議することを目的に本年度に設置し、また、私の選挙公約の一つでもある市政戦略会議において行われたものです。

仕分け作業では、市の事業のうち20事業25項目について、市民に公開の場で、同会議の委員と所管部署の職員が議論を交わしました。仕分けの判定区分は、推進、継続、改善、民間化、廃止の5つに分かれますが、判定の結果は、10項目で廃止、15項目で改善となりました。私は、事業仕分けの目的は、財源捻出もその一つではありますが、市川市政を市民目線の行政へ近づけることこそ第一の目的と考えてきました。仕分けを行った30人の委員の中には、学識経験者や関係団体からの推薦者のほかに、12人の公募による市民が含まれ、まさに市民の目線で議論していただきました。また、会場には延べ400人近くの市民が訪れ、議論の行方を注目するなど、市民の関心も高く、市民目線の行政に一步近づいたと感じています。

そして先月18日には、事業仕分けの結果を踏まえた答申が市政戦略会議から提出されました。その内容は市ホームページでもお知らせしておりますが、さらに12月18日号の本紙でも皆さんにお知らせします。現在、来年度予算の編成時期であることから、市では答申の結果を今後の市政運営へ反映させるための検討を行っております。

この度の事業仕分けでは、委員との議論を通して、行政にとっちは市民目線を改めて認識することができましたことから、来年度以降も手法等